

平成17年分平均給与は437万円

Q :平成17年分給与の統計調査結果が公表されたようですが、今年はどのような結果になっているのでしょうか？

A :1年を通じて勤務した給与所得者数が4年ぶりに増加し、給与総額も8年ぶりに増加していますが、男女合計の平均給与は8年連続で減少しています。

【解説】

平成17年分民間給与の実態統計調査の結果が、国税庁から公表されました。

平成17年分の結果を見ると、1年を通じて勤務した給与所得者数が4年ぶりに増加し4,494万人となっています。男女別では、男性2,774万人、女性1,720万人です。この増加に伴い給与総額は8年ぶりに増加し196兆2,779億円となりましたが、男女合計の平均給与そのものは437万円で8年連続の減少となっています。男女別での平均給与は、男性538万円、女性273万円となっています。

給与所得者の給与階級別分布をみると、男性では年間給与300万円超400万円以下の者が494万人、女性では100万円超200万円以下の者が449万人と最も多くなっています。

また、給与所得者のうち、源泉徴収により所得税を納税している者は3,853万人で、その割合は85.7%となっています。源泉徴収税額は合計で8兆9,630億円で、前年より1.9%増加しています。この増加は老年者控除の廃止が一番の要因のようです。

